



ベルクレター

2017
春号

株式会社ベルク 第58期報告書

平成28年3月1日～平成29年2月28日

富士見関沢店（平成28年11月9日開店）



ごあいさつ／連結決算の概況



代表取締役社長 大島 孝之

Better Life with Community

地域社会の人々に
より充実した生活を

ベルクは「Better Life with Community」を
CI コンセプトに、生鮮食品を中心に
地域密着型のストアづくりに
取り組んでいます。



平素は格別のご高配を賜り、誠に有難うございます。

ここに当社第58期（平成29年2月期）の決算報告をお届けし、事業成長を目指す取り組みの状況とその成果についてご説明させていただきます。

■ 経営成績に関する分析

当連結会計年度におけるわが国経済は、政府の経済政策等により景況感の好転が期待される一方で、国内では実質賃金が伸び悩む中、社会保障制度への不信等の将来不安を背景に個人消費が鈍化しております。加えて、世界経済の不確実性が米国新政権への移行による金融市場の混乱、英国のEU離脱問題及び中国の景気減速により高まる等、先行き不透明な経済状況が続くと思われま

す。小売業界におきましては、消費者の節約志向が依然として続く中、業種・業態を超えた競争の激化及び困難な状況が続く人材確保等、厳しい状況が続いております。

このような状況の中、引き続き、店舗の標準化、作業の効率化等によりコスト削減を行い、流通経路の見直しや産地開発等で商品力を高めました。

また、買い回りしやすい売場と広い駐車場で、多くのお客さまに支持され信頼される店舗展開を続けてまいりました。

その結果、お客さま皆様のおかげで、当連結会計年度の経営成績は、増収増益を達成することができました。



より良い商品を、よりお求めやすい価格でご提供いたします

■ 既存店の伸長が業績を支える

当社グループは、スーパーマーケットとして地域社会のお客さまの生活防衛意識に応えるべく「Better Quality & Lower Price」を掲げ、商品の品質強化、価格強化を推進いたしました。

その結果、当連結会計年度におきましては、客数が前年同期間に比べ全店で105.2%、既存店で101.2%、客単価が全店で101.8%、既存店で102.1%、売上高は全店で107.0%、既存店で103.2%となりました。

■ 販売政策について

販売政策におきましては、ポイントカード販促及びチラシ価格の強化により、お客さまの来店動機を高め、こだわり商品の訴求、品切れの削減及び接客レベルの向上を引き続き行うことにより、固定客化を図る取り組みを実施いたしました。

また、季節性及びイベント性を強調した楽しく賑わい感のある売場づくり、夕方のピークタイムに出来たて商品を提供する「スーパータ市」を行い、より充実した食生活の提案を推進いたしました。



ベルクこだわり「アトランティックサーモン」

■ 当社最大の特長

店舗運営におきましては、当社最大の特長である標準化された企業体制を基盤にLSP（作業割当システム）の定着化、適正な人員配置を図り効率的なチェーンオペレーションを推進いたしました。また、さらなる商品力強化、サービスレベル向上を図るため、本格稼働を開始した研修施設において、生鮮の加工技術及びレジ業務等の従業員教育の強化に取り組みました。

■ 店舗投資について

店舗投資におきましては、4店舗の新規出店と、既存店16店舗の改装を実施し、惣菜及び簡便商品の拡充、快適なお買物空間を提供するための設備の更新、生産性向上を目的にセミセルフレジ導入等を推進いたしました。

セミセルフレジは、商品登録はレジ担当者が行い、お会計はお客さまご自身のペースでゆっくり行っているだけのレジとなっております。このセミセルフレジ導入により、お客さまのレジ待ち時間の短縮に大きく貢献いたします。



生産性向上を目的にセミセルフレジを導入

■ 自社物流センターについて

物流体制におきましては、2つの自社物流センターにて、商品を産地やメーカーから大量一括調達することにより配送効率を高め、商品の価格強化、品質の安定化を目指しました。また、店舗作業に合わせた配送体制の見直しを引き続き行い、店舗運営の効率化に取り組みました。

■ 直輸入商品における取り組み

品質と安さにさらに磨きをかけるために、ベルクでは近年海外企業と直接商談を行い、直輸入商品を開発しています。流通段階をカットすることにより、より安く仕入れることができるだけでなく、本場の商品をお客さまにお届けすることが可能となっています。

今後も、自社で物流センターを保有しているメリットを活かして、直輸入商品数を増やしてまいります。



2つの自社物流センターにより、商品の価格強化、品質の安定化を実現

■ お客さまにやさしいお店づくり

ベルクの各店舗では、お客さまの健康な食生活をサポートする安全で身体にやさしい良水オアシスというお水の無料サービスをしています。清涼飲料水としても保健所の許可を得ており、赤ちゃんのミルクや離乳食にも安心して使用していただけます。

■ 社会貢献活動

ベルクではプロ野球OBが指導するジュニア野球教室を開催しています。迫力あるピッチングやバッティングを目の当たりにした子どもたちは、目を輝かせながら元気一杯にプレーをしていました。

また、平成28年4月に「平成28年熊本地震」により被災された方々の救援のための募金活動を全店で実施いたしました。お客さまからの募金に、ベルクからも2,000万円を加えた救援金は、日本赤十字社を通じ、被災地の復興・被災された方々の救援に用いられました。



平成28年12月17日 東京ヤクルトスワローズ2軍球場にて野球教室を開催

■ 連結子会社について

一方、連結子会社である「株式会社ホームデリカ」は、自社開発商品の製造を充実させ、店舗作業の軽減等を図りました。また、「株式会社ジョイテック」は、備品、消耗品及び販売用資材等の供給や清掃業務等、当社グループのサービス業務の強化に取り組みました。

■ 増収増益を達成

これらの結果、当連結会計年度における経営成績は、営業収益（売上高及び営業収入）が193,566百万円（前年比106.9%）、営業利益が9,164百万円（前年比109.0%）、経常利益が9,562百万円（前年比108.8%）、親会社株主に帰属する当期純利益が6,211百万円（前年比118.5%）となりました。



100店舗達成となるフォルテ蘇我店（平成29年4月5日開店）

■ 中長期的な会社の経営戦略

当社グループは中長期の経営戦略として、標準化した店舗フォーマットでの計画的出店を行い、新たな商圈開発に取り組むとともに、あわせて、既存店の改装等による店舗活性化や店舗状況に合わせた諸施策を実施し、一層のドミナント化とお客さまに支持される店舗展開を行います。

また、高収益の企業体質を維持、継続していくために、効率経営によりさらなるローコストオペレーションに取り組んでまいります。

中期経営計画の目標値

	第64期 (平成35年2月期)
売上高	2,570億円
店舗数	140店舗
経常利益高	116億円
連結経常利益率	4.5%
R O A	8.5%

ホームページも
ご覧ください

IR情報など、当社の最新の
情報をご覧ください。



<http://www.belc.jp>

業績ハイライト



▶ 営業収益

1,935 億円

前期比

6.9%増



▶ 経常利益

95 億円

前期比

8.8%増



▶ 総資産

991 億円

前期比

5.4%増



▶ 純資産

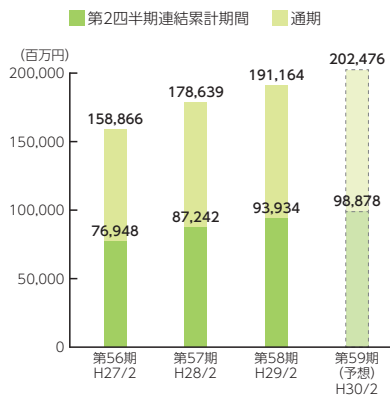
528 億円

前期比

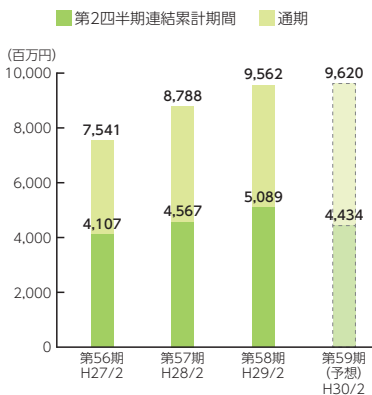
10.6%増



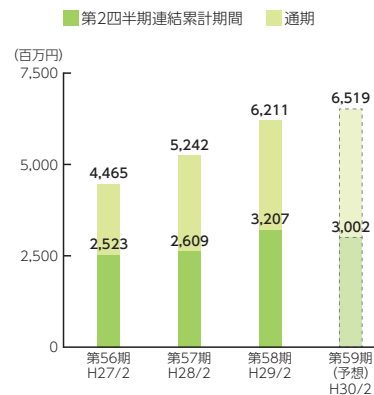
売上高



経常利益



親会社株主に帰属する当期純利益



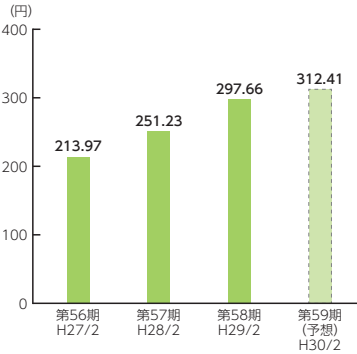
平成30年2月期連結業績予想（連結）

	平成29年2月期実績	平成30年2月期予想	前期比
営業収益 (百万円)	1,935億円	2,050億円	5.9%増
営業利益 (百万円)	91億円	92億円	1.0%増
経常利益 (百万円)	95億円	96億円	0.6%増
親会社株主に帰属 する当期純利益 (百万円)	62億円	65億円	5.0%増
1株当たり 当期純利益 (円)	297.6円	312.4円	5.0%増
1株当たり 配当金 (円)	60円 中間配当28円 期末配当32円	64円 中間配当32円 期末配当32円	—

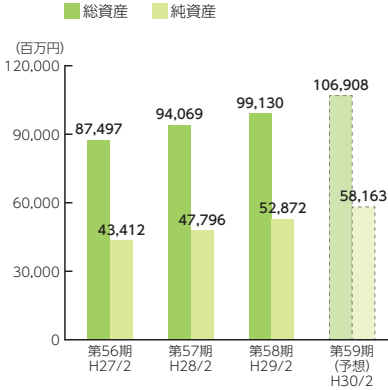
次期における経営環境におきましては、円安、資源高により、一部企業においては業績の回復が期待されますが、海外経済の不確実性の高まりや金融資本市場の変動の影響が懸念されるなど、先行き不透明な経済状況が続くと思われます。また、個人消費につきましては、雇用・所得環境の改善が期待されますが、社会保障制度への不信等の将来不安を背景に、低迷が長期化するものと思われます。

このような状況の中で当社グループは、他業種、他業態との競争、競合各社の積極的な出店に打ち勝ち、お客さまの生活防衛意識に 대응べく、購買頻度の高い商品群の価格強化を一層推進するとともに、自社開発商品や直輸入商品の取扱い等を推進し、商品力強化及び売場の活性化を図ってまいります。

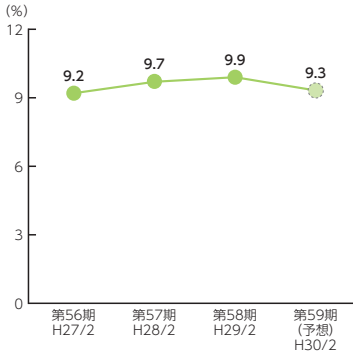
1株当たり当期純利益



総資産／純資産



ROA (総資産経常利益率)



リサイクル活動

環境活動に対する考え方

ベルクは「Better Life with Community（地域社会の人々に、より充実した生活を）」を経営理念に、様々な環境問題にも積極的に取り組み、お客さまにまた地球環境にとっても、快適で便利なやさしい店舗づくりに努めてまいります。

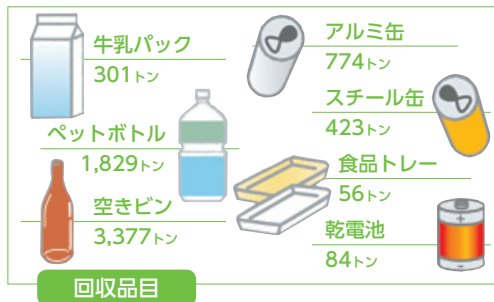
ベルクは全従業員が、身近なことから着実に、そして確実に実践することにより、私たちの活動が地域のお客さま一人ひとりのご理解・ご支援を賜ることで、より大きなやさしい環境づくりに役立ちたいと願っています。



リサイクル活動(店頭回収)

「ご家庭から出される資源を再利用することで、新しい資源とする。」ベルクでは資源の有効活用を通じ、環境保全を推進します。各店舗にリサイクルステーションを設置し、資源の店頭回収を実施し、地域のお客さまにご協力をお願いしています。

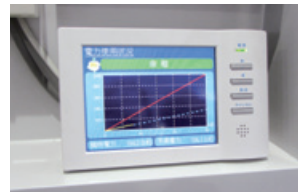
回収した各品目はベルクリサイクルセンターを活用したり、食品トレーの一部はトレーメーカーにて原料として再利用する「循環型リサイクル」を行っています。



省エネ活動

ベルクでは、店舗・本社において電気使用量の見える化を行っています。デマンドコントローラーを使い、あらかじめ設定した使用量を超えないように、従業員一丸となって取り組んでいます。

また、引き続き、照明のLED化を推進する等、総エネルギーの削減活動を通じて、環境にやさしい店舗づくりに取り組んでいます。



リサイクル活動(店舗での回収)

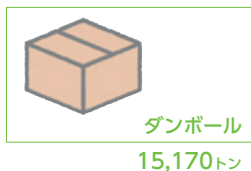
ベルクでは、店舗の営業の中で発生するゴミの分別・リサイクルに取り組んでいます。

店舗にて発生する様々なゴミは、細かく分別することにより、新しい資源として再活用できます。ダンボールは新しいダンボールへ、紙ごみは再生紙などへリサイクルしています。

また、貴重な食料資源を有効に活用するために「食料資源のリサイクル」にも取り組んでいます。分別した野菜くずや魚腸骨、食用廃油なども、専門業者にて肥料化や飼料化などを行っています。この肥料や飼料が新たな食料資源を生み出します。

ベルクは食品を扱う企業として、販売から廃棄にいたるまで、責任を持って取り組んでまいります。

回収品目



専門業者にリサイクルを依頼

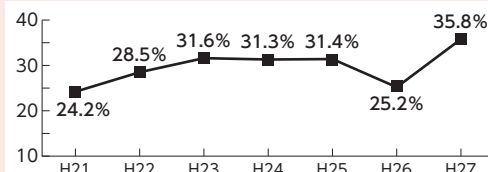


回収した食品廃棄物を発酵・分解



肥料や飼料へと生まれ変わります

食品リサイクルの推移



食育活動

食育活動に対する考え方

ベルクは「食」を通じて、これからの日本を担う子どもたちに、バランスのよい食事の大切さ、特に野菜や果物を食べる楽しさを理解してもらい、正しい食生活を形成し、「身体」だけでなく「心」の健康づくりを行ってほしいという想いから、食育活動を推進しています。

地域社会の人々に、より充実した生活を提供する手助けとなれるようこれからも取り組んでまいります。



食育授業

ベルクの店舗にて、野菜や果物についての知識や理解を深めてもらうために、食事バランスガイドを使った説明や、売場で実際に買物疑似体験を行ってもらう買物ゲームや調理実習、バックヤードの見学などを行っています。



食育イベント

生産地に行き、農作業を体験したり、生産工場へ行き商品がどのように作られているかを見学したり、実際に自分で作ってみたりといった体験を通して、「食」に関する理解や好奇心を育てています。



女子栄養大学との「産学連携」

ベルクは平成19年7月に食品スーパーマーケットとしては初めて、女子栄養大学と「産学連携」し、食育活動を推進していくことで合意し、覚書の調印を行いました。様々なアドバイスや情報をいただき、お客さまの健全な食生活の一助となる情報の発信、商品の提供を行っています。



移動スーパー「とくし丸」



埼玉県鴻巣地域よりスタート

高齢者等に対する買物支援、見守り支援を行うことを目的とした「移動スーパー」を平成29年2月より埼玉県鴻巣地域より開始いたしました。毎週2回、お客さまのご自宅一軒一軒を回り、ベルクの安心・安全な商品をお届けいたします。

今後も多くのお客さまに商品を届けるため、展開地域を順次拡大していく予定となっております。



新店舗



茨城県へ初出店

店舗展開におきましては、平成28年9月埼玉県川越市に「川越新宿店」、11月埼玉県富士見市に「富士見関沢店」、茨城県古河市に「古河駒羽根店」、平成29年2月千葉県野田市に「野田柳沢店」を新規出店した結果、平成29年2月末現在の店舗数は99店舗となりました。茨城県への初出店により、1都6県、関東全域で店舗展開をしております。



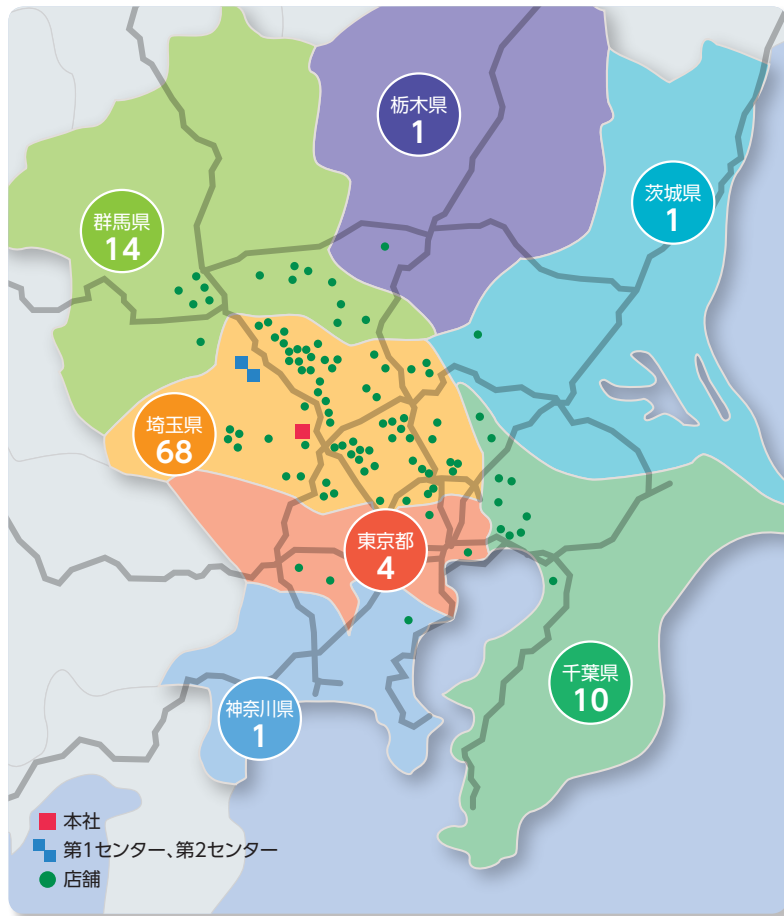
平成28年11月開店「古河駒羽根店」



店舗案内



平成29年2月28日現在



県別店舗数

平成29年2月28日現在

埼玉県	68 店舗
群馬県	14 店舗
千葉県	10 店舗
東京都	4 店舗

栃木県	1 店舗
神奈川県	1 店舗
茨城県	1 店舗

■ 新店舗



川越新宿店



富士見関沢店



古河駒羽根店

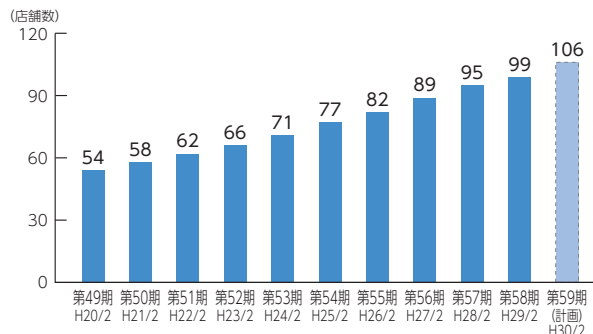


野田柳沢店

Belc おかげさまで 100店舗 可能性無限大

ベルクは平成29年4月5日に新店したフォルテ蘇我店をもちまして、100店舗を達成いたしました。それを記念いたしまして、平成29年4月に「100店舗達成！謝恩セール」を実施いたしました。この記念すべき100店舗という節目を迎えることができましたのも、これまでご愛顧いただいた多くのお客さまのおかげであり、厚く御礼申し上げます。

■ 店舗数の推移



■ 沿革

昭和34年（1959）	5月	埼玉県秩父市に株式会社主婦の店秩父店を設立
昭和34年（1959）	6月	埼玉県秩父市に宮側店出店
昭和58年（1983）	3月	営業地域の拡大等に対応し、商号を株式会社主婦の店ベルクに変更
平成2年（1990）	11月	埼玉県熊谷市に日配センター開設
平成3年（1991）	11月	埼玉県熊谷市に生鮮センター開設
平成4年（1992）	3月	企業イメージの向上のため商号を株式会社ベルクに変更
平成4年（1992）	6月	埼玉県熊谷市にグロサリーセンター開設
平成6年（1994）	6月	日本証券業協会に株式を店頭登録
平成6年（1994）	7月	埼玉県寄居町に惣菜センター開設
平成8年（1996）	2月	埼玉県寄居町に本部事務所新設、移転
平成10年（1998）	3月	株式会社ホームデリカ（100%出資、現・連結子会社）を設立
平成11年（1999）	1月	埼玉県熊谷市の日配センター、生鮮センター、グロサリーセンターを統合して、埼玉県寄居町に物流センター開設
平成15年（2003）	6月	株式会社ジョイテック（100%出資、現・連結子会社）を設立
平成16年（2004）	2月	埼玉県寄居町にリサイクルセンターを開設
平成16年（2004）	12月	株式会社ジャズダック証券取引所に株式を上場
平成18年（2006）	7月	イオン株式会社と業務・資本提携
平成19年（2007）4月 50店舗達成		
平成20年（2008）	2月	東京証券取引所市場第二部に株式上場
平成21年（2009）	2月	東京証券取引所市場第一部銘柄に指定
平成26年（2014）	5月	埼玉県美里町にチルドセンターを開設
平成27年（2015）	2月	埼玉県鶴ヶ島市に本社を新設・移転
平成28年（2016）	1月	埼玉県寄居町にトレーニングセンターを開設
平成29年（2017）4月 100店舗達成		

会社概要



平成29年2月28日現在

平成29年5月26日現在

▶ 会社概要

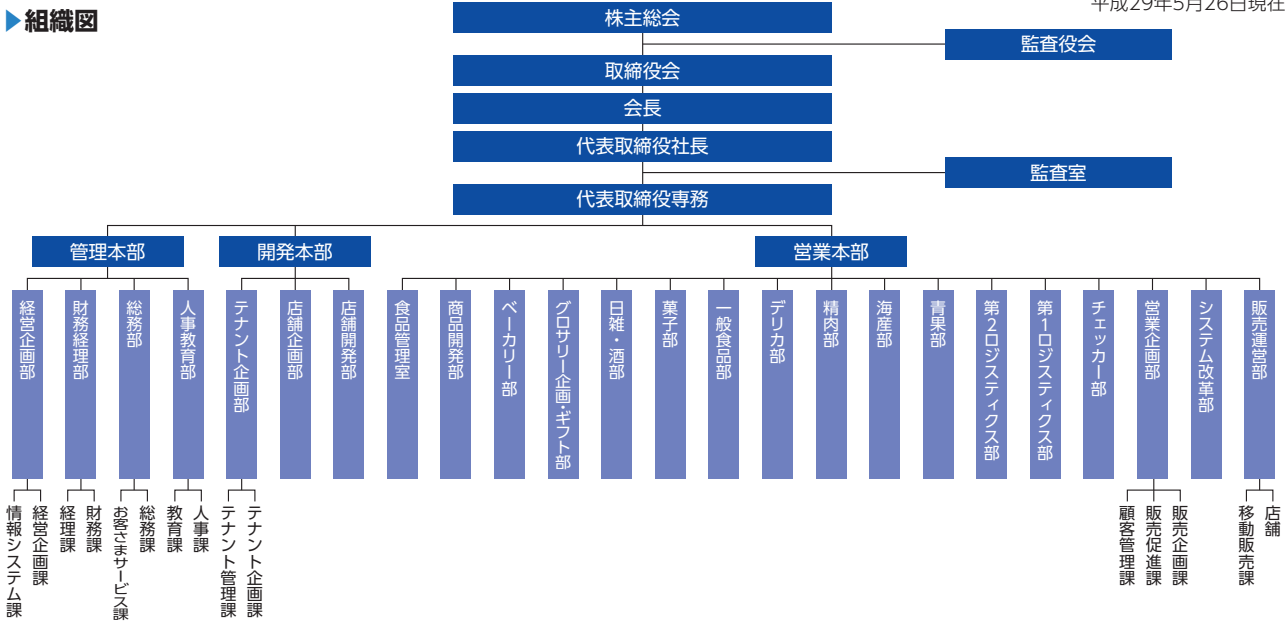
社 名	株式会社ベルク
代 表 者	代表取締役社長 大島 孝之
本社所在地	埼玉県鶴ヶ島市脚折1646番
資 本 金	3,912,657千円
従 業 員 数	連結／5,652名(正社員1,629名 パートタイマー(8h換算)4,023名) 単体／5,307名(正社員1,589名 パートタイマー(8h換算)3,718名)
事 業 内 容	食品スーパーマーケット・チェーン経営
連結子会社	●株式会社ホームデリカ 本社・第一工場 埼玉県大里郡寄居町大字用土5449-1 第二工場 埼玉県児玉郡美里町大字猪俣1026 ●株式会社ジョイテック 本社 埼玉県鶴ヶ島市脚折1646番

▶ 役員

取締役会長	原 島 保	取 締 役	大 杉 佳 弘
代表取締役社長	大 島 孝 之	取 締 役	上 田 寛 治
代表取締役専務	原 島 一 誠	取 締 役	古 川 知 子
常務取締役	上 田 英 雄	取 締 役	村 井 正 平
常務取締役	原 島 陽一郎	常勤監査役	妹 尾 能 久
取 締 役	渡 辺 修 司	監 査 役	前 嶋 修 身
取 締 役	高 野 初 雄	監 査 役	蔭 山 好 信
取 締 役	中 村 光 宏		

▶ 組織図

平成29年5月26日現在



株式データ／株主還元方針



平成29年2月28日現在

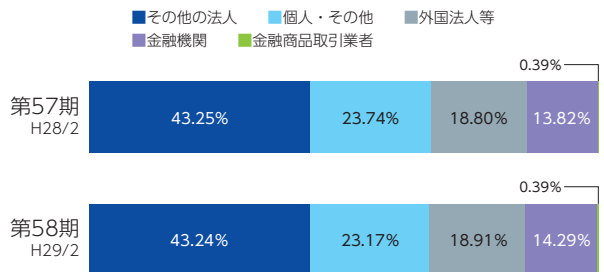
▶ 株式の状況

発行可能株式総数	50,000,000株
発行済株式の総数	20,867,800株
株 主 数	5,349名

▶ 大株主

株主名	所有株数(株)	持株比率(%)
イオン株式会社	3,131,000	15.00
株式会社IH	1,864,400	8.93
BBH FOR FIDELITY LOW-PRICED STOCK FUND (PRINCIPAL ALL SECTOR SUBPORTFOLIO) (常任代理人株式会社三菱東京UFJ銀行)	1,819,000	8.72
株式会社TH	1,401,400	6.72
有限会社ヘイセイカンパニー	1,083,000	5.19
株式会社しまむら	877,900	4.21
ベルク社員持株会	760,907	3.65
日本トラスティ・サービス 信託銀行株式会社(信託口)	702,400	3.37
株式会社武蔵野銀行	677,200	3.25
原島保	499,020	2.39

▶ 所有者別株式数比率



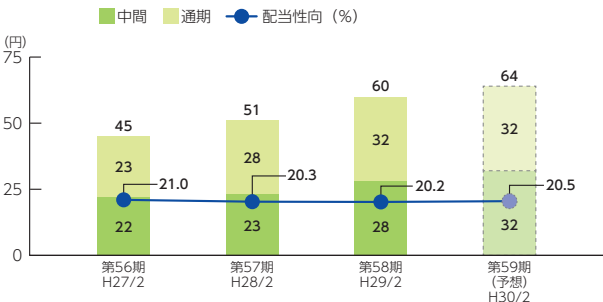
株主還元方針

当社は、株主に対する利益還元につきましては、経営の最重要課題のひとつとして位置付けており、安定配当の継続を基本方針としております。あわせて、財務体質の強化と業容の拡大に備え、また店舗の新設及び改装等の設備投資や有利子負債の圧縮等に活用するための内部留保の充実等も勘案して決定する方針であります。

これにより、企業競争力の強化に取り組み、企業価値の増大を通じ、株主の皆様への利益還元の充実を図ってまいります。

当連結会計年度におきましては、中間配当として普通配当1株当たり28円、期末配当として1株当たり32円の配当を実施いたしました。これにより年間配当金は1株当たり60円となり、配当性向は20.2%になります。また、次期の配当金は、1株当たり中間配当32円、期末配当32円の年間64円を予定しております。

▶ 配当金実施推移



株主優待制度

株主の皆様への日頃のご支援、ご協力への感謝のしるしとして、毎年2月末日現在の株主名簿に記載された株主様に対し、株主優待制度を実施しております。

1. 対象者及び対象基準

株主優待のご案内 (贈呈基準及び内容)				
所有株式数	水溫熟成 魚沼産コシヒカリ	当社商品券	JCB ギフトカード	
100株以上の株主様	2kg	または 1千円 (千円券×1枚)	または 1千円 (千円券×1枚)	
500株以上の株主様	3kg	または 2千円 (千円券×2枚)	または 2千円 (千円券×2枚)	
1,000株以上の株主様	5kg	または 3千円 (千円券×3枚)	または 3千円 (千円券×3枚)	
3,000株以上の株主様	8kg	または 4千円 (千円券×4枚)	または 4千円 (千円券×4枚)	
5,000株以上の株主様	10kg	または 5千円 (千円券×5枚)	または 5千円 (千円券×5枚)	

2. 贈呈の時期及び方法

5月に郵送される株主優待のご案内の中から、左記3品のいずれかをご選択いただき、ご希望のものを年1回6月下旬頃、お送りいたします。
〔株主様ご優待申込書〕のご返送がない場合は、「JCBギフトカード」をお送りいたします。〕

株主メモ

事業年度 毎年3月1日から翌年2月末日まで

定時株主総会 5月中

基準日

期末配当金 2月末日

中間配当金 8月31日

株主名簿管理人

特別口座の 三菱UFJ信託銀行株式会社

口座管理機関

〒137-8081

同 連 絡 先 東京都江東区東砂七丁目10番11号
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
電話お問合せ (0120) 232-711 (フリーダイヤル)

1単元の株式数 100株

証券コード番号 9974

公 告 方 法 電子公告
<http://www.belc.jp/company/koukoku/>

【ご注意】

- 株主名簿管理人及び特別口座の口座管理機関の事務拠点の移転に伴い、平成29年8月14日以降の連絡先は以下となります。
〒137-8081 東京都府中市日鋼町1-1 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
電話お問合せ (0120) 232-711 (フリーダイヤル)
- 株主様の住所変更、単元未満株式の買取請求その他各種手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問合せください。
なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。



株式会社 ベルク

〒350-2282 埼玉県鶴ヶ島市脚折1646番

TEL. 049-287-0111

お問合せ先：総務部



見やすく読みまちがえにくい
ユニバーサルデザインフォントを
採用しています。